

一般質問



松澤 利行 議員 (自民)

42条2項道路拡幅整備事業と耐震改修助成の整合性について

①建築基準法第42条2項の道路はセツトバックが義務付けられ、拡幅のために細街路拡幅整備事業が行われているが⑦内容は、①どの程度整備されたのか。②42条2項道路に面し、昭和25年以前から残っている木造住宅ほどの程度あるのか。③建てかえてもセツトバックをしない建築違反について⑦どう指導しているのか。④件数は、⑤区の助成をもらい耐震改修補強工事を行う例があるが、なぜか。④拡幅整備と違反建築家屋への耐震改修補強工事の整合性は、都市環境事業部長 ①⑦費用の一部助成等で拡幅整備を促進し、細街路の解消を図るものだ。①平成24年度までに総延長の32%、89kmを整備した。②8千棟ほどと考える。③⑦適時的確な指導により、ほとんどが是正されている。④過去5年間で30件だ。⑤震災時の建物倒壊から命を守る必要から、建築確認の必要がないものに耐震補強等の支援

を行っている。④建てかえの際はセツトバックするので整合はとれていると考える。

スタンドパイプの運用について

①スタンドパイプは消火栓が壊れると機能を発揮できない。区の上水道の耐震化率は、②火災危険度の高い品川区は優先的に耐震工事が進められるように要望を。③消火栓が使えるときはスタンドパイプ、使えないときはC級ポンプ等という運用への所見は。④区の配備品ではホースと運搬キャリアがない。町会などからの要望が多いが所見は。⑤たくさんの人が操作訓練を受けられるようにしては。

区長

①都によると、平成24年度末時点で都内全体の32%まで進んでおり、品川区でも同程度と聞いている。②既に要望している。③スタンドパイプは地域の自助・共助で活用し、消火ポンプは区民消火隊等による運用を考えている。④効果的な配備方法を検討していく。⑤訓練の機会を地域の実情に合わせて増やすなど、スタンドパイプの訓練の促進に取り組んでいく。

認知症対策について

①医師会と協議し、品川区版認知症医療連携システムを構築しては。②認知症サポーター養成講座の拡大とPRの拡充を。③グループホームの計画時に反対する方もいるが、十分に話し合い説得していただきたいと思う。グループホームの今後の展開は。④徘徊

高齢者探索システム事業の利用実績が上がらないが、原因と対策は。利用料金に問題があるのなら改善すべきでは。

健康福祉事業部長

①本年度からモデル事業として荏原病院認知症疾患医療センターとの連携協力で認知症早期発見・早期診断推進事業を開始した。検討会に医師会立訪問看護ステーションも参加しており、医師会等との連携を強化していく。②職場等への出前講座の拡充等をしていく。③認知症を正しく理解していただくよう説明を行っていく。13地区に1か所を基本とし、整備を進めていく。④現場に急行する料金が別に必要なこともあり、利用者は伸び悩んでいる。介護者等への周知に努め利用拡大を図っていく。

防犯カメラ設置助成について

①区道等にはほとんど防犯カメラが設置されていないが、区が責任を持って設置すべきでは。②なぜランニングコストの負担を地元にならせないのか。③改修費は6分の5を助成すべきでは。④補正予算を組んでも防犯カメラ設置助成を早急にすべきでは。地域振興事業部長 ①犯罪防止の必要度や危険度が高い公共施設等に警察署と連携し、防犯カメラの設置を進めてきた。②ランニングコストの負担をご理解の上で申請していただいていると考える。③7年を経過し、一定の要件を満たすものは助成対象だ。④都の補助金を前提とした制度で、区単独で補正予算を組んで助成を行うことは考えていない。

冬季期間中

ウォームビズで省エネルギーに取り組んでいます

品川区議会では、冬季暖房期間中は室温19度を目安に節電に取り組んでいます。皆様のご理解とご協力をお願いします。



お気軽に傍聴においでください

本会議、常任・特別委員会は誰でも傍聴することができます。傍聴される方の定員は本会議場は77人まで(車椅子用4席含む)、第1委員会室は65人、第2～第5委員会室は各10人までとなっています。また、乳幼児をお連れの方が本会議を視聴できる部屋も用意しています。

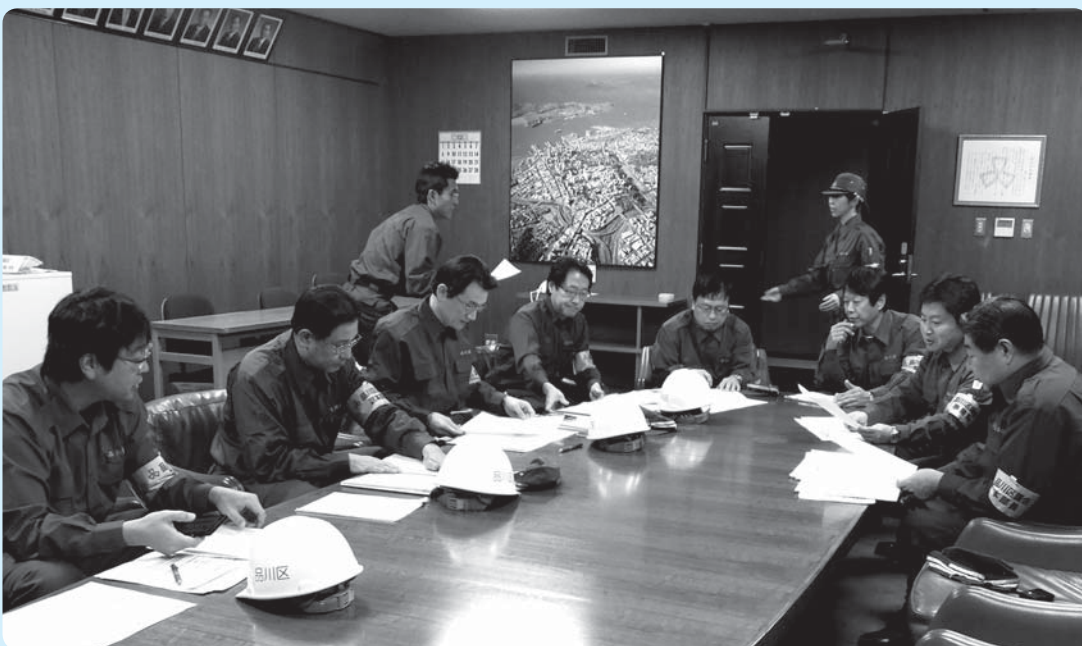
傍聴を希望される方は、議会棟4階の区議会事務局で傍聴券の交付を受けてください。傍聴券は会議開会の1時間前から先着順で交付します。ご希望の方は、区議会事務局議事係(☎5742-6809)までお問い合わせください。



区議会防災訓練を実施しました

平成25年12月8日(日)午前10時から、品川区の区内一斉防災訓練にあわせ、初めての区議会防災訓練を実施しました。

当日は、品川区議会災害対策本部を設置し、本部長である議長の指揮のもと、議員の安否確認、各学校避難所や地域の情報収集等を行い、寄せられた情報などを本部に集約し、整理した後、区の災害対策本部に提供しました。また、区の災害対策本部から入手した区内の被害状況等についても各議員に提供しました。今後は、今回の訓練における課題や反省点について、検討し改善していく予定です。



品川区議会では、大地震などの災害時に情報の一元化を図り、効率的な支援が出来るよう、必要に応じ議会に品川区議会災害対策本部を設置し、災害対応に取り組んでまいります。